

令和4年度 事業報告

(一財) 柏戸記念財団

1 営業の状況

令和4年度はコロナ前の水準に近い状況となったが収益は前期比▲25,491千円の1,444,002千円となった。営業利益は赤字幅の大幅な圧縮となったものの前期比▲1,008千円の67,061千円となった。

(表1) 部門別の営業の状況

単位 千円

部門別	売上高			営業利益		
	令和3年度	令和4年度 (当期)	前期比	令和3年度	令和4年度 (当期)	前期比
小倉台クリニック	73,405	67,047	-6,358	-26,068	-20,818	5,250
長洲クリニック	431,907	438,710	6,803	-26,886	-8,577	18,309
ポートクリニック	964,181	938,245	-25,936	153,281	125,782	-27,499
本部				-32,258	-29,326	2,932
計	1,469,493	1,444,002	-25,491	68,069	67,061	-1,008

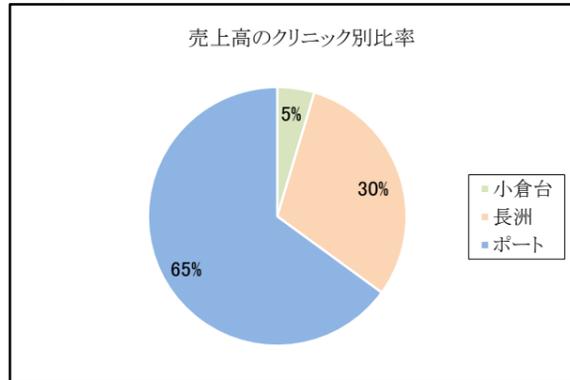
(注) 本部：総務・経理等の共通管理部門

(表2) 収益別の営業の状況

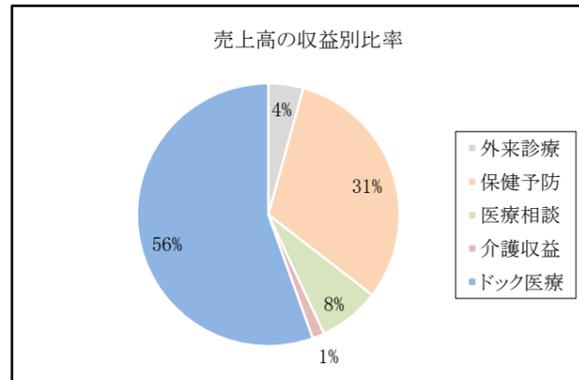
単位 千円

収益別	売上高		
	令和3年度	令和4年度 (当期)	前期比
外来診療収益	63,056	62,134	-922
保健予防活動収益	447,067	449,130	2,063
医療相談収益	108,909	108,912	3
介護収益	24,436	21,319	-3,117
ドック保健予防活動	824,067	800,056	-24,011
その他	2,260	3,030	770
保険等調整	-302	-579	-277
計	1,469,493	1,444,002	-25,491

グラフ1



グラフ2



2 業績の推移

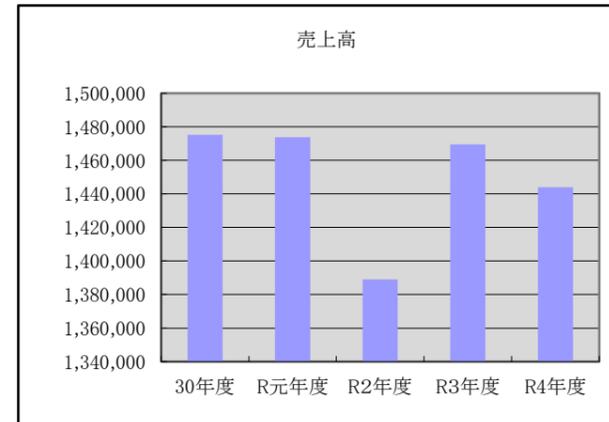
令和3年度にコロナワクチン接種による売上増加があり前期比較で減収が目立つが、コロナ前の水準にに戻りつつある。また医業費用の削減効果もあり経常利益も64,895千円を計上した。

(表3) 業績推移表

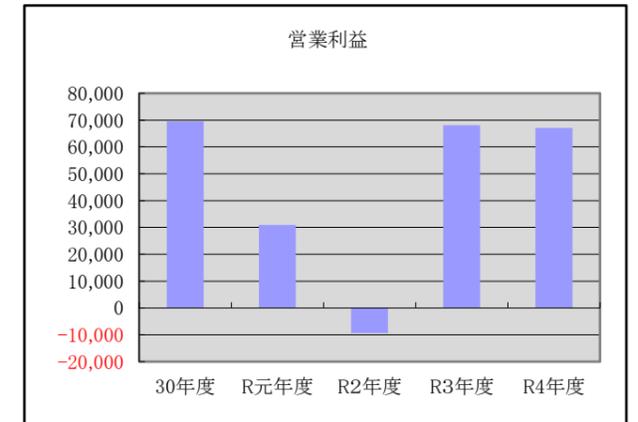
単位 千円

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
					(当期)
売上高	1,475,295	1,473,846	1,388,998	1,469,493	1,444,002
営業利益	69,560	30,908	-9,317	68,069	67,061
経常利益	88,580	29,331	14,242	76,326	64,895
総資産	973,429	946,175	1,544,196	1,347,234	1,293,908

グラフ3



グラフ4



3 患者数等の状況

(表4) 患者数

単位 人

部門別	令和3年度	令和4年度		
		(当期)	前期比	
小倉	外来患者	10,479	8,246	-2,233
	デイサービス	2,299	2,006	-293
長洲	出張健診	53,271	51,062	-2,209
	来所健診	5,366	5,674	308
ポート	外来患者	3,098	2,940	-158
	ドック	11,122	10,943	-179
	健康診断	16,945	8,414	-8,531
	協会健保	5,487	5,344	-143
	生活習慣	4,742	4,556	-186

4 小倉台 部門別収益

(表5) 部門別収益

単位 千円

	令和4年度		増減
	R3年度	R4年度	
外来	33,813	35,308	1,495
健診	15,159	10,420	-4,739
介護	24,432	21,319	-3,113